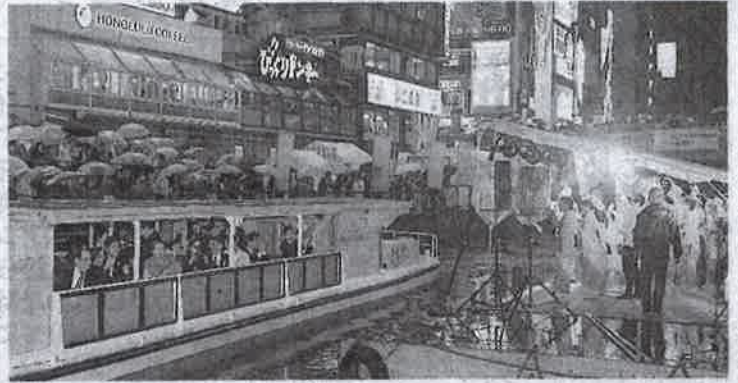


万博審査「評価は良好」

大阪誘致で国際事務局



船から道頓堀を視察する博覧会
国際事務局の調査団。8日夜、
大阪市中央区、上田潤撮影

政府が大阪誘致をめざす
2025年開催の万博につ
いて、博覧会国際事務局
(BIE、本部・パリ)の
調査団が8日、東京や大阪
での3日間の審査を終え
た。大阪市内で記者会見し
た団長の崔在哲・駐デンマ
ーク韓国大使は「暫定的な
考え方としては(評価は)
良好だ」と述べた。

調査団は崔団長ら8人で
構成。5日に来日し、6日
から開催計画や誘致への盛
り上がりなどを審査した。
25年万博にはロシアとアゼ
ルバイジャンも立候補して
おり、審査結果を参考に11
月にBIE加盟170カ国
の投票で開催国が決まる。
6日に安倍晋三首相に面

会した調査団は、7日に大
阪に入り、大阪市役所で松
井一郎・大阪府知事や吉村
洋文市長を表敬訪問した。
8日は会場予定地の人工島
・夢洲を視察。近くの大坂
府咲洲庁舎(大阪市住之江
区)55階にある展望台から
視察後、夢洲の予定地を歩
いた。

視察後の記者会見で崔団
長は、「政治家や国民の強
い支持を確認できた」と評
価。資金計画や会場構想に
ついて「財政的な保証が
あり、実現可能性がある」
と語った。一方で「全般的
評価は良好だが、まだ段階
として早い」とも述べ、今
後さらに開催計画を具体化
していく取り組みが必要だ

との考えを示した。
調査団は会見後に大阪・
ミナミの道頓堀も視察。9
日に帰国する予定だ。

視察に同行した松井知事
は8日午後、記者団に「す
ごく良い雰囲気、熱意は
伝わった」と振り返った。
調査団への開催計画の説明
の場で、現在は2車線とな
っている夢洲にかかる橋に
ついて4車線化の可否を問
われ、「開催までには十分
に対応可能」と答えたと明
かした。

調査団は4月までに3カ
国の視察を終えて報告書を
まとめ、加盟国に提供す
る。11月のBIE総会の投
票で開催国が決まる。

(佐藤恵子、半田尚子)